※令和４年度以降入学生用

学校番号	3010

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　「標準現代の国語」（第一学習社）						
副教材等	新訂版常用国語便覧（浜島書店）・　常用漢字ダブルクリア四訂版 ・論読現代文１（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けることをめざします。
授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動も行います。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 「教材」 なぜ本を読むのか	a ：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深めている。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c ：本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・好奇心の重要性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 「教材」 世界は謎に満ちている	a ：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b［　書　］：自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 c ：積極的に主張と論拠の関係を理解し、理解したことを踏まえて使おうとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 「教材」 話し方の工夫・待遇表現	a ：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 b［　話/聞　］：目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c ：積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・日本のピクトグラム掲示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 「教材」 言語としてのピクトグラム	a ：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b［　書　］：自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 c ：積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	・必要な情報を探す方法を理解する。 ・引用の目的とその効用を理解する。 「教材」 情報の探索と選択・情報源の明示	a ：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b［　話/聞　］：目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c ：進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
2	文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 「教材」 ステレオタイプの落とし穴	a ：主張と論拠など情報と情報との関係を理解している。 b［　読　］：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c ：本文を読んで考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことを実社会から題材を求めて発表しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート定期考査授業態度
	事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 「教材」 図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	a ：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b［　書　］：、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成を工夫している。 c ：異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 「教材」 スピーチで自分を伝える	a ：話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 b［　話/聞　］：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c ：進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 「教材」 人はなぜ仕事をするのか	a ：比喩、例示、言い換えなどについて理解を深めている。 b［　書　］：自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 c ：本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 「教材」 理想の修学旅行をプレゼンする	a ：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b［　話/聞　］：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c ：積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
3	文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 「教材」 イースター島になぜ森がないのか	a ：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［　読　］：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c ：個別の事例を一般化する文章の効果的な組立て方を理解し、学習課題に即して解釈を深めようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 「教材」 書き方の基礎レッスン	a ：書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 b［　書　］：自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 c ：進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度
	・意見文とはどういうものかを理解する。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 「教材」 社会に対する意見文を書く	a ：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b［　書　］：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c ：目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	定期考査 小テスト	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 授業態度

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間